

横浜市消防局納め 高所監視カメラシステム

須合健一* 助川 修***
藤井良郎**
石田直樹**

要旨

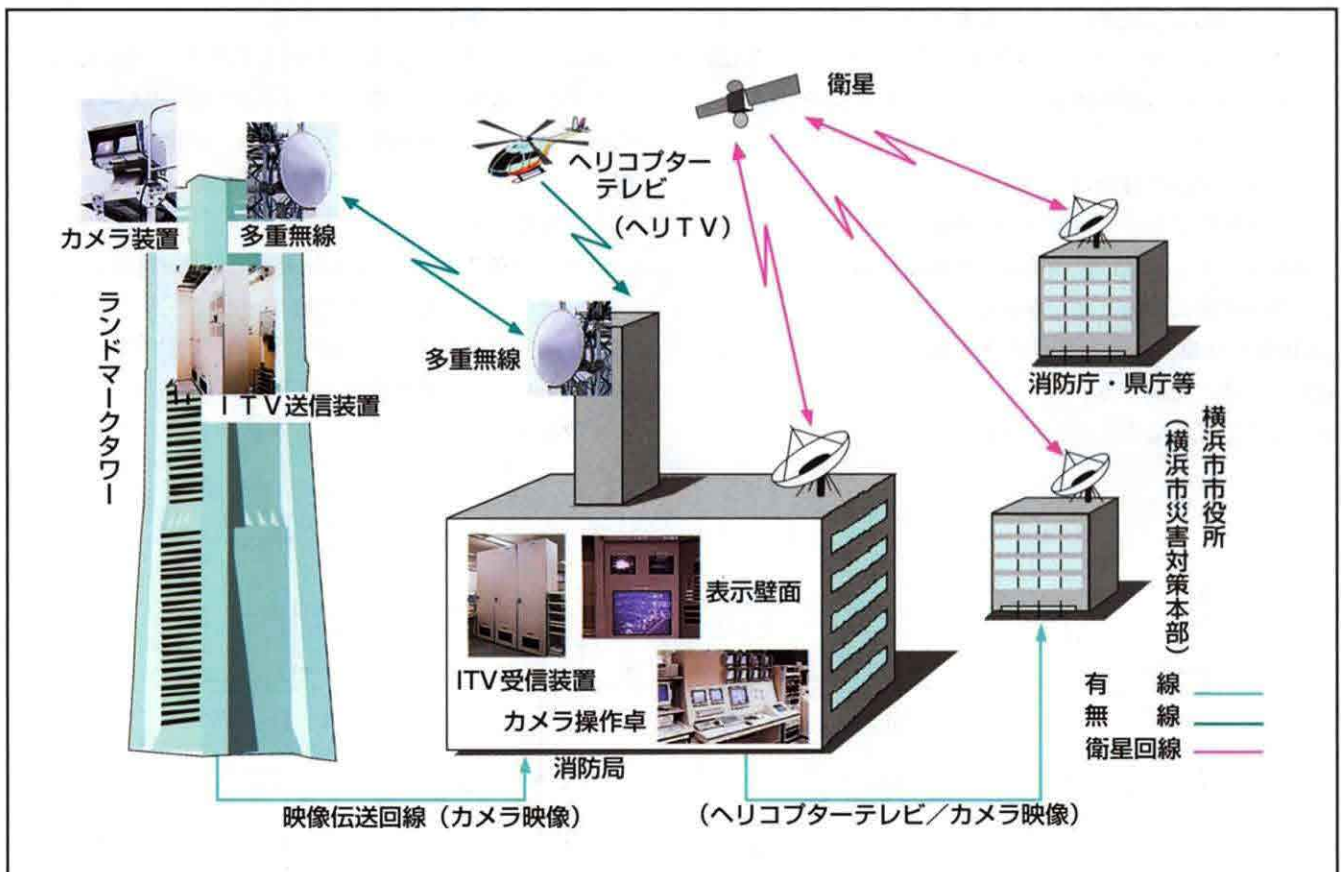
近年の急速な都市化・市街地化の波は、災害を複雑化・多様化させるとともに、都市自体を災害に対してぜい(脆)弱な環境に変えつつある。1995年1月17日午前5時46分に発生した阪神・淡路大震災では、正に都市直下型の地震の恐ろしさをまざまざと見せ付けられたといえる。6,000人を超える尊い人命を失うなど多大な被害をもたらした。

地震や台風の発生そのものを抑えることは困難であるが、様々なソフト的な施策を施すことで、その被害を最小限に食い止めることは可能であるといえる。

三菱電機では、従来からソフト的な施策の一端として数多くの防災システムを手掛けてきたが、このたび、いわゆ

る情報空白期における情報収集手段の一つとして有効な高所監視カメラシステムを横浜市消防局に納入した。

このシステムは、我が国有数の超高層建築物である横浜ランドマークタワーに設置されたカメラによって24時間の広域監視を可能とするシステムであり、当社がこれまでの様々な防災システムの構築実績で培ったシステム構築技術とシステム運用ノウハウ、及び赤外線カメラや多重無線システム等の最高レベルの製品をフルに用いることで、高所監視カメラシステムとして最高レベルの機能・構成・信頼性を実現している。



横浜市消防局高所監視カメラシステムの構成

地上285.3mの高所である横浜ランドマークタワー屋上の4方向にカメラを設置している。カメラは赤外線カメラと可視カメラを搭載し、昼夜を問わず24時間撮影可能である。撮影した映像は、多重無線回線と有線回線を利用して横浜市消防局に伝送される。消防局では、カメラ操作卓を利用してランドマークタワーのすべてのカメラを制御できるほか、映像を表示壁面に表示できる。さらに、必要により、衛星回線を通じて関連機関へ伝送できる。